

ワイヤーメッシュ柵によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

宇部市二侯瀬荒瀬地区は宇部市の北東に位置し、水稻を中心に小麦や葉物野菜の農業生産が行われており、イノシシによる食害防止の為にワイヤーメッシュ柵を設置していたが老朽化により地区住民では対応困難な破損が目立つようになった。近年では破損箇所からイノシシの侵入が頻発し、農作物の被害が多くなっている。

このため、山際の竹、木、葛等の整理により緩衝帯を設け、既存のワイヤーメッシュ柵の撤去、張替え、補修を行った。さらにイノシシ捕獲の為に箱罠を設置することにより、被害の軽減を図る。

2 地区の概要

地区名	宇部市二侯瀬 荒瀬地区
主な作物	水稻・小麦・サツマイモ
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和4年度



3 被害の状況と課題

○イノシシの侵入により地区内の水田で稲穂の食害や畦畔の掘り起こしが発生している。
また、ぬた遊びによる異臭被害も発生している。
新痕跡も複数あり、地区内で被害が分散している。



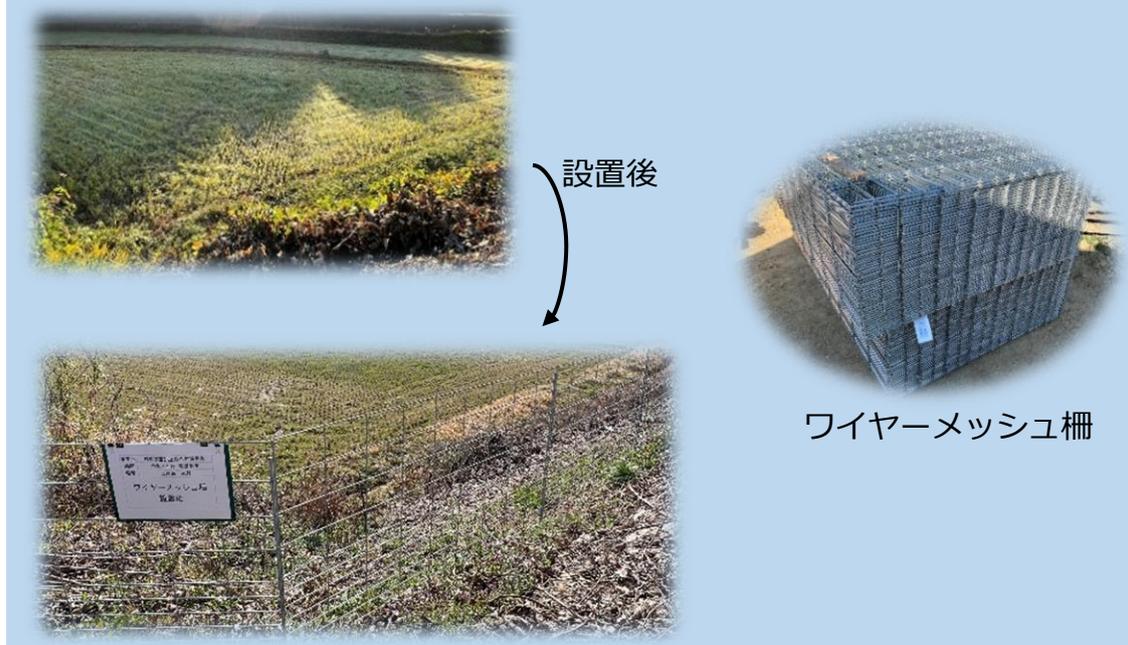
4 取組内容現地説明会

(1) 事前現地説明会、関係機関との対策協議

地区代表者と被害防止の為に話し合いを行い、地区住民には対策実施への協力依頼を行った。農村被害にあった場所の現地調査を行い、調査結果を関係機関と共有を行い、対策を検討した。

(2) 対策の実施

イノシシの侵入防止の為に新しいワイヤーメッシュ柵を設置した。また猟友会による駆除活動、罠設置による捕獲実施を行った。



5 取組の成果

○ワイヤーメッシュの設置によりイノシシに対する被害額の抑制。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	800	400	▲400	100	▲700	—	—

6 地区代表者のコメント

○新たにワイヤーメッシュを設置したことにより、イノシシの侵入が減ることが見込まれる。毎年イノシシの被害がひどいので被害防止につながることに期待したい。

○今後もイノシシの被害防止策については試行錯誤していきたい。

7 今後の取組

捕獲用箱罠を効率的に利用するためには生息域、出没域の状況把握が重要であるため、猟友会や地域住民と連携し、地域一体となり被害防止に対応できる組織づくりを目指し、効率的に捕獲ができる場所に箱罠を設置する。